



# 増える遊び場 子どもに笑顔

**みんなで勉強楽しい**  
釜石市の白山小で避難生活  
菊地美玖さん(白山小1年)  
ランドセルや遊び道具など、みんなで勉強できるのが楽しい。

**安全な町つくりたい**  
陸前高田市の正徳寺で避難生活  
中山海君(小友小5年)  
学校で津波が来た時、黒い大きな波で車えだい。

▽被災者からのメッセージ△

題字・山下文男さん

## 気兼ねなく伸び伸びと孤立感解消、親も安堵

この地区の学校や集会では、同市鶴住居場所づくりは国際子ども語る。こうした子どもの居間が必要だ」と意義を語る。栗林児童館には、自然体験活動を中心とした地域づくりをしているNPO法人ねおす(札幌市)が「子どもの遊び場」を開設。午前と午後に各1時間程度、子どもたちが近くの避難所から飛び出し、ゲームやスポーツを楽しむ。同法人専務の宮本英樹さんは、「避難生活で子どもたちは我慢を重ね、自然とストレスをためている。津波のつぶれが、安心感を持てる空間が必要だ」と意義を語る。

金石市北部の山あいにある栗林児童館。好天に恵まれた29日、小学4年生十数人が庭でドッジボール遊びに声を弾ませた。

「こうした子どもの居間が必要だ」と意義を語る。こうした子どもの居間が必要だ」と意義を語る。

## 民間団体が着々設置

町から逃れてきた約300人が避難生活を送っている。「避難所は静かに寝ているお年寄りが多くなる学校みたいに遊べるから楽しい」岩崎真生さん(小学6年)は、子どもたちが折った紙飛行機を見つめながら笑みがこぼれた。

栗林児童館には、自然体験活動を中心とした地域づくりをしているNPO法人ねおす(札幌市)が「子どもの遊び場」を開設。午前と午後に各1時間程度、子どもたちが近くの避難所から飛び出し、ゲームやスポーツを楽しむ。同法人専務の宮本英樹さんは、「避難生活で子どもたちは我慢を重ね、自然とストレスをためている。津波のつぶれが、安心感を持てる空間が必要だ」と意義を語る。

この地区の学校や集会では、同市鶴住居場所づくりは国際子ども語る。こうした子どもの居間が必要だ」と意義を語る。

## 避難所を早く出たい

野田村の野田中で避難生活漁業野崎亮雄さん(61)い。お互いに一生懸命頑張つていればと思う。物資や食べ物、炊き出しなど支援を頂き、う。

東日本大震災で避難した子どもたちが伸び伸びと遊んでいます。震災発生から半年以上経過した避難所生活では周囲に気兼ねし子どもたちははしゃいで遊べる例は少なくない。遊び場は子どもたちに笑顔を取り戻させ、その姿に心を和らげる親にとっても心のケアの場となっているようだ。

東日本大震災で市街地が大きな被害を受けた大船渡市三陸町漁業漁船が津波で流されたり、運営が困難な状況だ。自宅避難の子でも孤立感を深め、ストレスを抱える例は少なくない。遊び場は子どもたちに笑顔を取り戻させ、その姿に心を和らげる親にとっても心のケアの場となっているようだ。

## 漁業再開は10年後か

道下孝人さん(47)道下孝人さん(47)軽トラック2台と漁船が津波で流されたり、運営が困難な状況だ。自宅避難の子でも孤立感を深め、ストレスを抱える例は少なくない。遊び場は子どもたちに笑顔を取り戻させ、その姿に心を和らげる親にとっても心のケアの場となっているようだ。

東日本大震災で市街地が大きな被害を受けた大船渡市三陸町漁業漁船が津波で流されたり、運営が困難な状況だ。自宅避難の子でも孤立感を深め、ストレスを抱える例は少なくない。遊び場は子どもたちに笑顔を取り戻させ、その姿に心を和らげる親にとっても心のケアの場となっているようだ。

改善センターで避難生活三浦美咲さん(大船小6年)卒業式でみんなに会う。大船渡市三陸町漁業漁船が津波で流されたり、運営が困難な状況だ。自宅避難の子でも孤立感を深め、ストレスを抱える例は少なくない。遊び場は子どもたちに笑顔を取り戻させ、その姿に心を和らげる親にとっても心のケアの場となっているようだ。

東日本大震災で市街地が大きな被害を受けた大船渡市三陸町漁業漁船が津波で流されたり、運営が困難な状況だ。自宅避難の子でも孤立感を深め、ストレスを抱える例は少なくない。遊び場は子どもたちに笑顔を取り戻させ、その姿に心を和らげる親にとっても心のケアの場となっているようだ。

# 燃料確保に苦慮 全ガソリンスタンド被災の大槌

東京地裁は29日、「前科の放火に関する検察側の証拠取り調べ、請求を却下した。

飯田裁判長は「前科の放火に関する検察側の証拠取り調べ、請求を却下した。

飯田